

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-524397(P2015-524397A)

【公表日】平成27年8月24日(2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-053

【出願番号】特願2015-521912(P2015-521912)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

C 1 2 Q 1/68 Z N A

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/4745

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月31日(2016.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腫瘍による 1 つ又は複数の遺伝子の発現を検出するインビトロの方法であって、
該遺伝子は、そのプロモーター中に I R F 7 結合部位を含み、
 対応する非転移性腫瘍における該遺伝子の発現レベルに対する該遺伝子の発現レベルの低下が該腫瘍の転移性表現型を示す、上記方法。

【請求項 2】

前記遺伝子が表 1 に列挙した遺伝子から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

少なくとも 10 遺伝子、少なくとも 20 遺伝子、少なくとも 30 遺伝子、少なくとも 40 遺伝子、少なくとも 50 遺伝子、少なくとも 60 遺伝子、少なくとも 70 遺伝子、少なくとも 80 遺伝子、少なくとも 90 遺伝子、少なくとも 100 遺伝子、少なくとも 110 遺伝子、少なくとも 120 遺伝子、少なくとも 130 遺伝子、少なくとも 140 遺伝子、少なくとも 150 遺伝子、少なくとも 160 遺伝子、少なくとも 170 遺伝子、少なくとも 180 遺伝子、少なくとも 190 遺伝子、少なくとも 200 遺伝子、又は少なくとも 208 遺伝子についてスクリーニングすることを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

表 2 から選択される 1 つ又は複数の遺伝子についてスクリーニングすることを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

表 2 に列挙した遺伝子の全部についてスクリーニングすることを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

(i) IFITM3、TLR3、IRF7 及び IL13RA1 について、

(ii) CALD1、RUNX1、YWHAZ 及び HBEGF について、

(iii) IL13RA1、CSF2RB、STAT1、CD44、IRF7、IFI44、TLR3 及び IFITM3 について、

(iv) IL13RA1、CD86、CSF2RB、STAT1、CD44、IRF7、IFI44、TLR3、IER3、IFITM3、RUNX3 及び CTSS について、

(v) IFI44、IRF7、CSF2RB、STAT1、TLR3、IL13RA1 及び IFITM3 について、

(vi) IFI44、IRF7、CSF2RB、STAT1、TLR3、IFI202B、IER3、RUNX3、CTSS、IL13RA1、IFITM3 及び CD86 について、

(vii) RUNX1、SQLE、PDXK、YWHAZ、DDX3X、RBBP4、HBEGF、DAB2 及び FAM120A について、

(viii) RUNX1、SQLE、PDXK、HNMT、CALD1、YWHAZ、DDX3X、RBBP4、THBS1、HBEGF、DAB2 及び FAM120A について、

(ix) PTPRK 及び SLC6A6 について、

(x) CSDE1、ATP6V1B2、PTPRK、LGMN、CXCL9、TGIF1、NIPA2、SLC6A6、ARG1、CFP、CTSH 及び ACSL4 について、

或いは

(xi) DHX58、BST2、IFI44、IFIT3、IRF7、STAT1、DSP 及び USP18 について、

スクリーニングすることを含む、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 7】

1 つ又は複数の追加の遺伝子マーカーについてスクリーニングすることを含む、請求項 1 から 5 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

RNA 転写産物又はそれから転写される cDNA のいずれかについて、或いはタンパク質発現産物についてスクリーニングすることを対象とする、請求項 1 から 7 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

腫瘍における IRF7、IRF9 又は STAT1 の機能性レベル(functional level)を検出する インビトロの方法であって、対応する非転移性腫瘍における該 IRF7、IRF9 又は STAT1 の機能性レベルの低下が該腫瘍の転移性表現型を示す、方法。

【請求項 10】

分析の対象である腫瘍が原発腫瘍である、請求項 1 から 9 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記腫瘍が乳房、結腸、腎臓、肺、皮膚、卵巣、脾臓、前立腺、直腸、胃、甲状腺又は子宮の腫瘍である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記転移が骨転移である、請求項 9 から 11 までのいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記機能性レベルが、IRF7、IRF9 及び / 又は STAT1 の絶対レベル(absolute level)について、或いは IRF7、IRF9 及び / 又は STAT1 の活性についてスクリーニングすることにより評価される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

I R F 7 機能異常によって特徴付けられる、個体の転移性癌を処置するための医薬組成物であって、該個体の I 型 I F N のレベルを上方制御する薬剤を含む、医薬組成物。

【請求項 1 5】

I R F 7 機能異常によって特徴付けられる、個体の転移性癌を処置するための医薬の製造における I 型 I F N のレベルを上方制御する薬剤の使用。

【請求項 1 6】

前記癌が請求項 1 ～ 1 3 の何れかに記載の方法によって診断可能である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物又は請求項 1 5 に記載の使用。

【請求項 1 7】

前記癌が乳房、結腸、腎臓、肺、皮膚、卵巣、脾臓、前立腺、直腸、胃、甲状腺又は子宮である、請求項 1 4 から 1 6 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 1 8】

前記 I 型 I F N は I F N 又は I F N である、請求項 1 4 から 1 7 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 1 9】

前記薬剤は、I 型 I F N タンパク質又はその機能性断片であるか、I 型 I F N 又はその機能性断片をコードしている核酸分子であるか、或いはパターン認識受容体と相互作用する分子である、請求項 1 4 から 1 8 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 2 0】

前記パターン認識受容体は、T L R 7 / 8 アゴニスト、又はイミキモドなどの、T o l l 様受容体又は R L H である、請求項 1 9 に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 2 1】

前記個体がヒトである、請求項 1 から 2 0 までのいずれか一項に記載の方法、医薬組成物又は使用。